

1 豊かな心

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合いながら、 集団生活のルールを守り、 協力して楽しい学校生活を送っている	前期	良好	良好	あいさつ運動への取組の効果で、子どもたちのあいさつが気持ちよい。ただし、地域の方へのあいさつや会釈には個人差がある。学校でも家庭でも、明るいあいさつや返事がなぜよいのか、意義付けを図り、子どもたちが納得できるようにしてほしい。 様々な縦割り班活動や異学年交流で、豊かな心情が培われている。仲よし登校もよい取組である。地域によっては仲よし登校の回数を増やしているところもあり、こうしたよさを継続・充実させてほしい。
	年度	おおむね良好		
評価指標			主な取り組み	自己評価B 前期 年度
①思いやりの心と自律性の育成 (いじめゼロ)			道徳教育の充実(道徳コーナー)、学校生活アンケート、あいさつ運動	3 3
			正しい言葉遣い、集団生活のきまりの徹底、身なり・礼儀等	3 3
②関わる力と主体性の育成			縦割り班活動、異学年交流活動、地域活動、二中学区連携	4 4
			学級での係活動、児童会活動、委員会・クラブ	4 4

学校の改善策

【前期→後期】

① 全校朝会での各委員会での発表等で児童の活躍の場が設けられ、よさを認め合う活動が設けられている。今後は、児童のよさを様々な形で紹介したり賞賛したりする場を多く設けていきたい。

① あいさつには個人差があるものの、全体的には元気にあいさつできる児童が多い。今後は、自分から進んで挨拶できるように、また、地域の人にも積極的に挨拶できるようにしたい。そのために、声かけの運動の日と一緒にあいさつ運動を行うなどの機会を定期的に設けて行きたい。

② 児童会活動では、集会の企画や日々の活動など、児童の主体的な取組が多く見られる。今後も各委員会の持ち味を生かした活動を行ってきたい。

② 全校縦割り活動やアップル活動等、異学年交流の機会が多く設定され、子どもたちの関係も良好である。高学年の下学年への接し方(言葉遣いなど)は今後の課題であるが、今後も異学年活動の時間を大切にしていきたい。

【後期→次年度】

① 友達や先生への校内でのあいさつは定着してきているが、地域でのあいさつや来客へのあいさつが不十分である。「いつでも、どこでも、だれにでも」あいさつができるよう指導していくとともに、声かけの日に合わせてあいさつ運動を行うなど、地域の方との接触の機会を増やしていく必要がある。

① 「はい」などの返事や、お辞儀などの礼儀に個人差がある。学級での指導を継続するとともに、集会の場を利用して徹底して指導していく。

② 掃除や遊びなど縦割りでの活動は、全校が仲よくなる要因となっている。また、アップル活動も上学年・下学年にとって意義のある活動である。今後も継続していきたい。地域活動や二中学区連携として行われたボランティア活動は、すでに決まっている計画にしたがって活動するものであった。今後は、児童から考えを引き出し、できる限り児童の計画のもとで主体的な活動を行っていきけるようにしていきたい。

② 各委員会では、児童の主体的で創造的な活動が見られた。今後は、集会を企画する高学年児童だけでなく、全校児童が集会のねらいを理解した上で参加し、意義のある活動にしていけるようにしたい。

【各種データ】		前期		後期	
保護者アンケート		平均	肯定率	平均	肯定率
①	子どもは、楽しく学校に通っている。	3.5	95	3.6	99
②	子どもは、学校・家庭・地域で挨拶している。	3.1	89	3.1	90
⑨	子どもは、話す相手や場に応じて、正しい言葉遣いをする事ができている。	2.9	69	3.0	85
⑧	子どもは、基本的生活習慣(時間、身なり、歯みがき、整理整頓)を身に付けている。	2.8	69	2.8	69
④	教職員は、子供をよく理解し、一人一人の悩みや相談に真剣に対応している。	3.3	93	3.4	93
⑥	学校は様々な行事が充実しており、子どもたちが活躍する場となっている。	3.7	97	3.6	100
⑧	学校では、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	3.2	84	3.2	86

児童アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
①	先生や友達、地域の人に進んで明るくあいさつをしていますか。	3.6	94	3.7	96
②	名前を呼ばれたときに、元気よく返事をしていますか。	3.4	88	3.4	89
③	学校内の生活のきまりを守っていますか。(時間、服装、歩き方、遊び方など)	3.5	91	3.5	90
④	ふだんの生活で言葉を大切に使っていますか。(くんさん付け、ていねいな言葉)	3.5	91	3.5	92
⑤	縦割り活動や係活動、委員会活動などを自分から進んでがんばっていますか。	3.7	97	3.6	93
①	学校は楽しいですか。	3.6	97	3.6	92
②	いじわるやわがままをしないで、みんなのことを考えて行動していますか。	3.6	98	3.7	94
③	当番や係でなくても、気がついたときはみんなのためになることをしていますか。	3.5	93	3.5	94
④	友達のがんばりや良いところを見習い、悪いところは注意してあげていますか。	3.4	89	3.4	87
⑤	親切に人と接したり、困っている人に手を貸したりしていますか。	3.7	96	3.5	94
⑥	子ども会や地域などの行事にも進んで参加していますか。	3.7	96	3.6	94
⑦	困り事があると、先生や友だちに相談しますか。	3.4	84	3.4	85

自己評価A及び外部評価の評価区分		自己評価Bの評価基準	
○きわめて良好		5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
○良好		4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80～90%、前年度比103～107%
○おおむね良好		3	実現状況は概ね良好／達成率60～79%、前年度比98～102%
○やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50～59%、前年度比93～97%
○努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下